

2021 年度 授業計画(シラバス)

学 科	生命工学技術科		科目区分	専門分野	授業の方法	講義演習
科目名	論文演習		必修/選択の別	選択必修	授業時数(単位数)	30 (1) 時間(単位)
対象学年	バイオサイエンス専攻 3年		学期及び曜時間	後期	教室名	403教室
担当教員	矢野 昌人	実務経験とその関連資格	工学博士(生命工学)の学位を取得。産学官連携プロジェクトに研究員として参加し、分子生物学的手法をもちいて研究に従事(2年半)。大学の助教として、分子生物学的手法、細胞培養、動物実験をもちいて研究に従事(4年)。			
《授業科目における学習内容》						
どのような研究においても、論文を作成・発表することで研究活動は完結する。そこで本講義では、研究活動における論文の位置づけを伝えることで、論文の重要性について理解してもらおう。また適宜例を用いて解説し、イントロダクション～考察までの各章において、何を書くべきかを学び、他者にとって分かりやすい論文を作成するための知識を身につける。						
《成績評価の方法と基準》						
論文のまとめと発表、質疑応答の回数とその内容について評価を実施する 1 授業への取り組み姿勢やノート評価70% 2 出席評価20% 3 平常点10%						
《使用教材(教科書)及び参考図書》						
必要に応じてプリント配布						
《授業外における学習方法》						
インターネットや図書室を利用し、最新の論文についての情報をまとめる						
《履修に当たっての留意点》						
研究とは新しい発見、法則を見つけるものであり、世界に発信および共有することでその価値が認められるものである。他者が理解できる論文を作成するためには、論文のルール、適切な表現などを知る必要がある。以上を理解して、主体的に授業に望んで欲しい。						
授業の方法	内 容			使用教材	授業以外での準備学習の具体的な内容	
第1回	講義演習形式	授業を通じての到達目標	論文の必要性について理解し、卒業研究での取り組み方を改善する	特になし	授業ノートを利用して、学習範囲の復習を行う 課題:論文タイトルを考える	
		各コマにおける授業予定	論文の必要性:論文の目的と作成する意味、タイトルをつける意味と考え方			
第2回	講義演習形式	授業を通じての到達目標	論文作成において魅力的なタイトルを付けることができる	特になし	授業ノートを利用して、学習範囲の復習を行う	
		各コマにおける授業予定	論文の書き方:タイトルに含めるべき内容と適切な表現、イントロダクションの目的と内容			
第3回	講義演習形式	授業を通じての到達目標	論文作成において分かりやすいイントロダクションを作成できる。	特になし	授業ノートを利用して、学習範囲の復習を行う 課題:イントロダクションの作成	
		各コマにおける授業予定	論文の書き方:、分かりやすいイントロダクションの書き方、イントロダクションの考え方			
第4回	講義演習形式	授業を通じての到達目標	各自のイントロダクションを評価し、より良い内容のイントロダクションを作成する。	特になし	授業ノートを利用して、学習範囲の復習を行う 課題:イントロダクションの再提出	
		各コマにおける授業予定	論文の書き方:イントロダクションの作成、そのチェックと評価			
第5回	講義演習形式	授業を通じての到達目標	抄録について理解し、作成できる。	特になし	授業ノートを利用して、学習範囲の復習を行う	
		各コマにおける授業予定	卒業研究発表:抄録の書き方について			

授業の方法		内 容		使用教材	授業以外での準備学習 の具体的な内容
第6回	講義 演習形式	授業を通じての到達目標	論文作成において適切なマテリアル&メソッドを作成できる	特になし	授業ノートを利用して、学習範囲の復習を行う
		各コマにおける授業予定	論文の書き方:マテリアル&メソッドのポイント(目的、含めるべき内容)		
第7回	講義 演習形式	授業を通じての到達目標	論文作成において適切な結果を作成できる	特になし	授業ノートを利用して、学習範囲の復習を行う
		各コマにおける授業予定	論文の書き方:結果のポイント(目的、書き方、含めるべき内容)		
第8回	講義 演習形式	授業を通じての到達目標	学科内発表の流れと目的を理解し、発表に向けてグループごとに準備できる。	特になし	授業ノートを利用して、学習範囲の復習を行う
		各コマにおける授業予定	卒業研究発表:学科内発表の仕方について		
第9回	講義 演習形式	授業を通じての到達目標	論文作成において適切な考察を作成できる	特になし	授業ノートを利用して、学習範囲の復習を行う
		各コマにおける授業予定	論文の書き方:考察のポイント(目的、書き方、含めるべき内容)		
第10回	講義 演習形式	授業を通じての到達目標	プレゼンテーションにおける適切なパワーポイントの構成について理解し、作成できる	特になし	授業ノートを利用して、学習範囲の復習を行う
		各コマにおける授業予定	プレゼンテーションについて:パワーポイントの構成について		
第11回	講義 演習形式	授業を通じての到達目標	プレゼンテーションにおける色やフォントサイズを適切に選択できる	特になし	授業ノートを利用して、学習範囲の復習を行う
		各コマにおける授業予定	プレゼンテーションについて:他者に伝わりやすい適切な色、フォントサイズ、見せ方		
第12回	講義 演習形式	授業を通じての到達目標	プレゼンテーションにおける効果的な発表方法や原稿作成ができる	特になし	授業ノートを利用して、学習範囲の復習を行う 課題:原稿の作成
		各コマにおける授業予定	プレゼンテーションについて:発表方法、原稿の考え方		
第13回	講義 演習形式	授業を通じての到達目標	適切に報文集作成、パワーポイントを作成できる	特になし	授業ノートを利用して、学習範囲の復習を行う 課題:PPTの作成と発表準備
		各コマにおける授業予定	報文集について:報文集作成、発表用PPT作成、チェックと指導		
第14回	講義 演習形式	授業を通じての到達目標	適切に報文集作成、パワーポイントを作成できる	特になし	授業ノートを利用して、学習範囲の復習を行う 課題:PPTの作成と発表準備
		各コマにおける授業予定	報文集について:報文集作成、発表用PPT作成、チェックと指導		
第15回	講義 演習形式	授業を通じての到達目標	適切に報文集作成、パワーポイントを作成できる	特になし	授業ノートを利用して、学習範囲の復習を行う 課題:PPTの作成と発表準備
		各コマにおける授業予定	報文集について:報文集作成、発表用PPT作成、チェックと指導		